

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース シラバス

開催方法 (○で囲む)	1 ライブ 2 オンデマンド
※配信日時 (ライブの場合)	
科目名	和漢3 和漢医薬学総合研究所附属民族薬物資料館の紹介
担当教員	富山大学 和漢医薬学総合研究所 研究員 小松 かつ子 氏
授業の内容	伝統・伝承医学と治療に用いられる薬物は人類が疾病との戦いの中で見出した貴重な遺産である。そのような世界諸民族の薬物の標本を約 30,000 点保存しているのが、当民族薬物資料館である。本講義では、現在日本で行われている漢方医学と使用薬物、歴史上影響を受けた中国医学、インド医学とそれらの薬物などについて理解を深めることを目的として、民族薬物資料館内を巡る。閲覧ポイントでは以下の内容を学ぶ。 一般展示室 1：漢方医学で使用される生薬、漢方処方の成り立ちと治療時の処方選択法（陰陽・虚実・気血水論に基づく）、生薬の分類（補気薬、理気薬、補血薬、駆瘀血薬、利水薬）、和薬と民間薬、富山の製薬業（反魂丹、世界に輸出された配置薬システム）、特別展示（世界の人参、動物性・鉱物性生薬、ウコン類生薬）、和漢研での研究成果。 一般展示室 2：インド医学の基礎理論と使用される生薬、正倉院薬物から日本にもたらされた生薬を知る、蘭奢待、チベット医学タンカとチベット生薬。 生薬保管庫：生薬の標準化の必要性、山椒が配合された大建中湯の現代応用、貴重薬の紹介など。
2 学生の到達目標	・日本で行われている伝統医療と中国医学及びインド医学との関連性を学ぶ。 ・漢方医学及び生薬学の基礎を学ぶ。 ・現代における伝統医学の役割を理解する。
キーワード	漢方医学、漢方処方、生薬、民間薬、配置薬、正倉院薬物、伝統医学
その他、受講上の注意事項や学習上の助言など	生薬の基原や効能・効果などの詳細は、民族薬物データベースを参照してください。https://ethmed.toyama-wakan.net/